

2010年9月16日
成田国際空港株式会社

NARITA CSプロジェクト2010 第2弾!

独立行政法人情報通信研究機構と成田国際空港株式会社の共同実験



×



スマートフォンを活用した多言語音声翻訳システムの 実用化に向けた検証実験を開始!

成田国際空港株式会社では、今後増加が期待される中国人を中心とした訪日外国人のお客様へのサービス向上を目指しており、その一環として、この度、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)と共同で、スマートフォンを活用した多言語音声翻訳システムの実用化に向けた検証実験を実施いたします。

今回の検証実験では、お客様と空港スタッフ間とのコミュニケーションツールとしてNICTで開発された多言語音声翻訳機能をインストールしたスマートフォンを使用いただくことにより、言語の壁を取り払い分かりやすい丁寧な案内を推進して参ります。また、多言語音声翻訳システムに成田国際空港の関連する固有な名詞等を追加することにより、翻訳精度の向上を図ります。

これにより、お客様はスムーズにコミュニケーションを図ることが可能となり、より便利により楽しく空港内店舗等をご利用頂けます。



利用イメージ



端末の画面イメージ(NICT 提供)

- ◆ 実施期間: 2010年10月1日(金)~2011年2月28日(月)
- ◆ 実施場所: 第1・2旅客ターミナルビル内店舗等
- ◆ 対応言語: 日本語、英語、中国語
- ◆ 端末: スマートフォン(Apple社製 iPhone)
- ◆ 端末数: 100台
- ◆ 利用者: 店舗、カウンター等のスタッフ
(成田空港CS協議会、テナント協議会等を通じ、利用を募る予定)

*iPhoneは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。